

## 就任挨拶

委員長

岩佐嘉彦

Iwasa Yoshihiko(41期)



せっかく、幹事長として、「1年間ありがとうございました」「それなりにがんばりました」という退任の挨拶を書いたのに、「今年度は企画調査委員会の委員長になります」「がんばります」という就任の挨拶を書かねばならない。また、阿部会報委員長に、写真をもうちよっちゃんとしたものにするようにと年度初めから散々言われていたのに、一年間、中途半端な写真を使い続け、今回は、幹事長の退任挨拶とこの就任挨拶で同じ写真が2回も出ると思うと、さらに気が引ける(と言いつつ、写真を差し替えてもらおうとしない私)。自分が筆頭副幹事長を終えた翌年に組織活性化委員会の委員長になって、退任挨拶と就任挨拶を書いたことをちょっと思い出す。ただ、幹事長を終えると、企画調査委員会の委員長になることになっており、先人のとおってきた道なので、文句は言えない。

平成31年度、2019年度の企画調査委員会の方針は、白紙である。

副委員長も決まったばかりで、話し合いもしておらず、当然ながら第1回の委員会も行われていないので、みなさんの意見をお聞きして、しっかり運営していきますとしか言いようがない。

従前の活動からすると、弁護士のありよう、弁護士会の活動に関係するテーマを一つか二つ掲げて、シンポジウムをするというのが一番オーソドックスであることは承知している。他方で、今年は友新会の120周年なので、例えば120周年仕様でしっかりしたシンポを1本やることにして、そこに全精力を注ぐみたいなこともあるかもしれない。さらにはシンポジウムという形にこだわらないで、例えば、弁護士、弁護士会はどこへいくみたいな座談会をして(集客力のないテーマだが、検討して記録を残しておきたいテーマ)、会報に要約版をのせてもらうとか。他にも、もっと意表を突くような取組もできるかもしれない。

例年以上にいっぱい活動しようという考えまではないが(活動量は例年並みでいきたい)、楽しくアイデアをだしあって、活動できたらなあと思う。

「人の意見を聞いているように見えて、実はあまり聞いておらず、頑固で意見を変えない」という的確な指摘を家庭をはじめとして関係各所から受けておりますので、強力な副委員長さんの意見をよく聞いて、進めていきたいと思えます。

1年間よろしく申し上げます(なかなか足抜けできない)。